

岡山大学4つの挑戦：J-PEAKS事業の採択を受けて

研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課

- ・岡山大学長期ビジョン2050実現のためにJ-PEAKSを活用
- ・J-PEAKS終了後も継続してイノベーションが創出出来るよう大学経営改革を実施



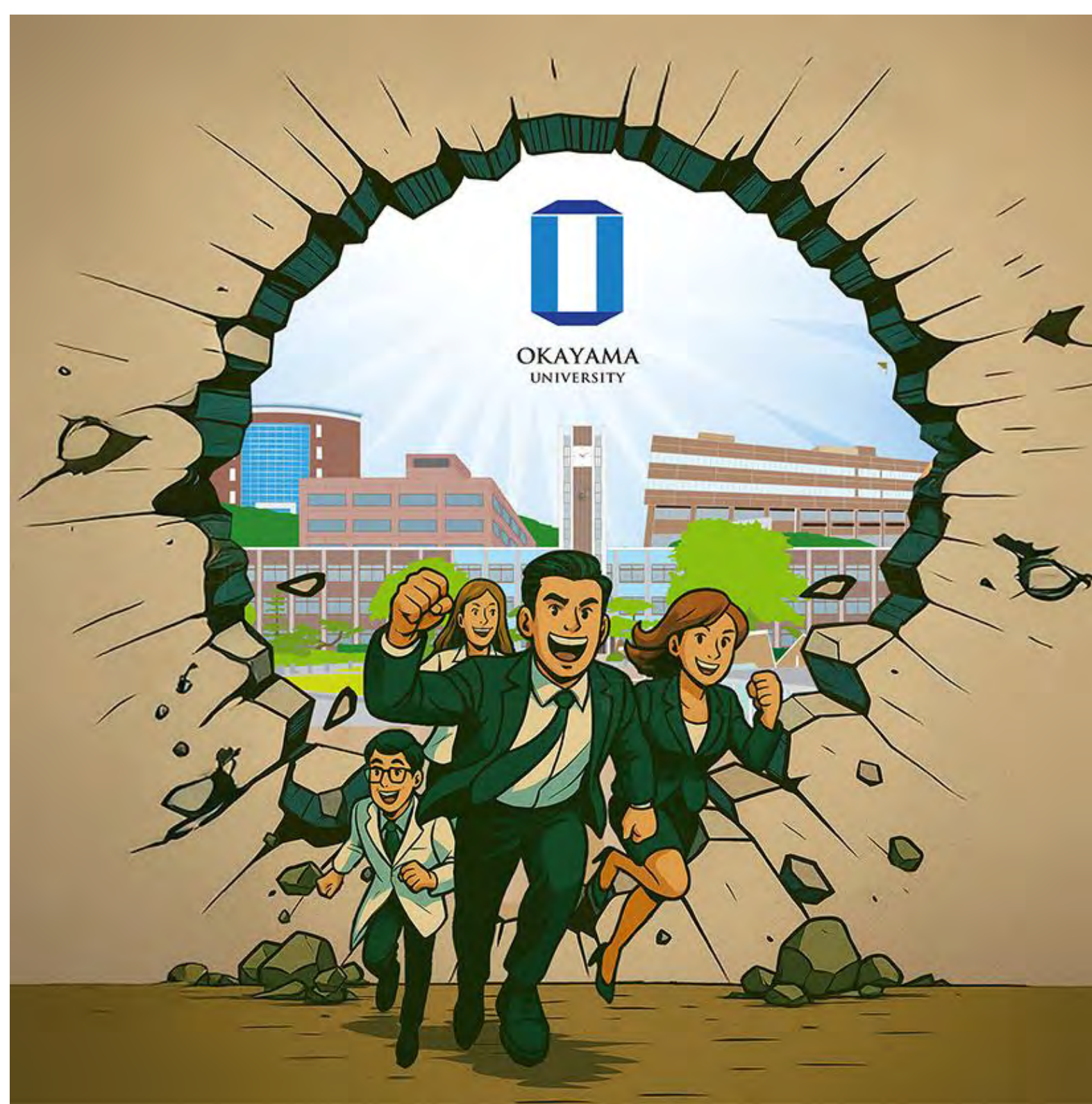
地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

【対象】

強みや特色ある研究、社会実装の拠点等を有する大学

【目的】

研究力向上と社会実装加速に必要な環境構築を支援し、戦略的な経営の下、ハード・ソフト双方の環境整備を促進すること。また、他大学との連携等を図ること。



取組1：卓越性の飛躍から世界的課題を解決する新技術創出

「光合成の根幹をなすタンパク質の機構」、「植物の機構・構造・ゲノム情報」を解明する。また、人工光合成の社会実装、クリーンエネルギー生産システムや極限環境下でも安定・高強度を保つ新素材開発を加速化する。

取組2：イノベーション創出によるWell-being社会の実現

「少子高齢化が進む日本において、デジタルの力と国家戦略特区を活用して、皆が豊かに暮らせるWell-being社会を描く。

取組3：知と技を集約し、イノベーション創出の基盤となる研究環境を構築

研究機器の整備・共用化と高度技術人材の育成により、研究大学としての基盤を強化。人が岡山の地に集い、知識と技術を磨くとともに、他機関との連携を強化することで、人と技術の好循環を促進する。

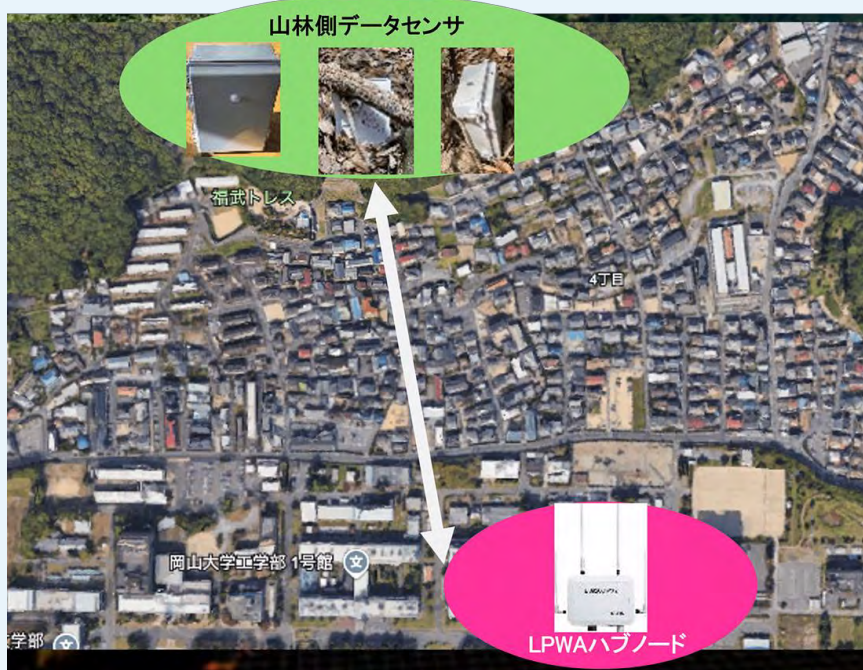
取組4：研究分野を牽引する研究者と知識を活用し社会を変革するナレッジワーカーの育成・輩出

大学における人的リソースを最適化し、組織のパフォーマンスを向上。キャリアパスの多様化により、自身の得意分野にて価値を発揮し、個人のパフォーマンスを向上。

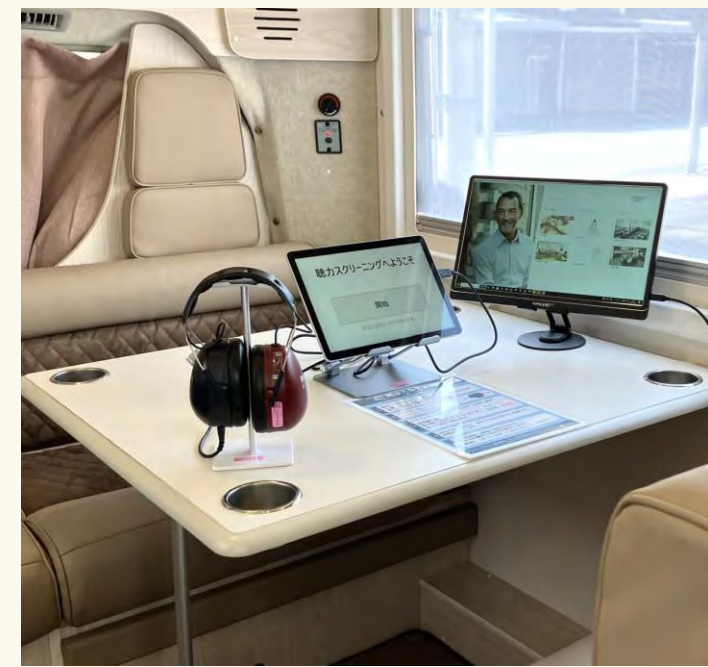


OKAYAMA UNIVERSITY

【産学官連携による加齢性難聴対策】 → 難聴の早期発見に向けた、検診車による検診



← 【山林資源の可視化による持続可能性の追求】 ドローンやロボットを用いた効率的なデータ収集



【職員の高度化に向けた取組】 ↓ 修士・博士号取得者を増加させる取組である 大学院修学支援制度の認定者



【教職員の高度化に向けた取組】 ↑ 研究開発マネジメント業務を担う 人材の養成



岡山大学J-PEAKS シンポジウム - J-PEAKSによる 大学改革の最前線 - 2026. 1. 27 TUE.

会場

岡山コンベンションセンター
岡山県岡山市北区駅元町14番1号

参加申込

2026年1月13日（火）締切
対面、オンラインを問わず、
QRまたはURLから事前申込を
お願いいたします。



<https://forms.office.com/r/Fa7tz3vn24>



【主催】 国立大学法人岡山大学
【お問合せ】 研究・イノベーション共創管理統括部研究協力課
☎ : 086-251-8442
✉ : innovation@adm.okayama-u.ac.jp

岡山大学J-PEAKS HP
<https://j-peaks.orstd.okayama-u.ac.jp/>



第1部 全体会

10:15~12:00

第2部 取組別セッション

13:30~16:30

9:45

開場

10:15

開会挨拶

岡山大学 学長 那須保友



10:20

基調講演

内閣府本府参与 上山隆大
「21世紀におけるアメリカの経営システム
を考える（仮）」



10:45

取組紹介

岡山大学 学長 那須保友
「J-PEAKSを活用した大学経営改革」

11:15

パネルディスカッション

ファシリテーター：
岡山大学 副理事・副学長・上級URA 佐藤法仁

パネラー：
九州工業大学 経営戦略室室長、副学長 三宅智実
千葉大学 学長特別補佐 山本智久
長岡技術科学大学 特命副学長 中山忠親

11:55

閉会挨拶

岡山大学 理事 三村由香里



オンライン配信について

オンライン配信は第1部及び第2部の一部
のみとなります。



会場について

会場は岡山コンベンションセンターです。
第1部：3F コンベンションホール
第2部：3F 各会場



情報交換会について

17時~19時に情報交換会を開催予定です。
会場：2F 展示ホール

第3回岡山大学-信州大学連携 シンポジウム

場所：3階ホール(西) (ハイブリッド開催)

岡山大学と信州大学は令和5年度に「J-PEAKS」に採
択、その後、地球規模の課題解決を目指し、両
大学の研究者が共同研究を推進しています。第
3回となるシンポジウムでは、J-PEAKSを活用し
た研究の実績・成果や現状の課題の発表などを
通じ、両大学の連携強化・地球規模の課題解決
について考えます。

共生型連合体による地方創生の新潮流 - 大学間連携が拓く地域産業と人材の未来 -

場所：3階ホール(東) (ハイブリッド開催)

岡山大学を中心に、大阪大学、筑波大学、山梨
大学、大阪公立大学、金沢大学が参画する「共
生型連合体」。本ワークショップでは、地域産
業の振興と人材定着をテーマに、大学間連携に
よる地方創生の新たな仕組みを議論し、持続可
能な地域発展モデルの構築を目指します。

「知と技術を繋ぎ、 “支えあう力”を育てる」 ~ 暗黙知の共有から生まれる、共創の未来へ ~

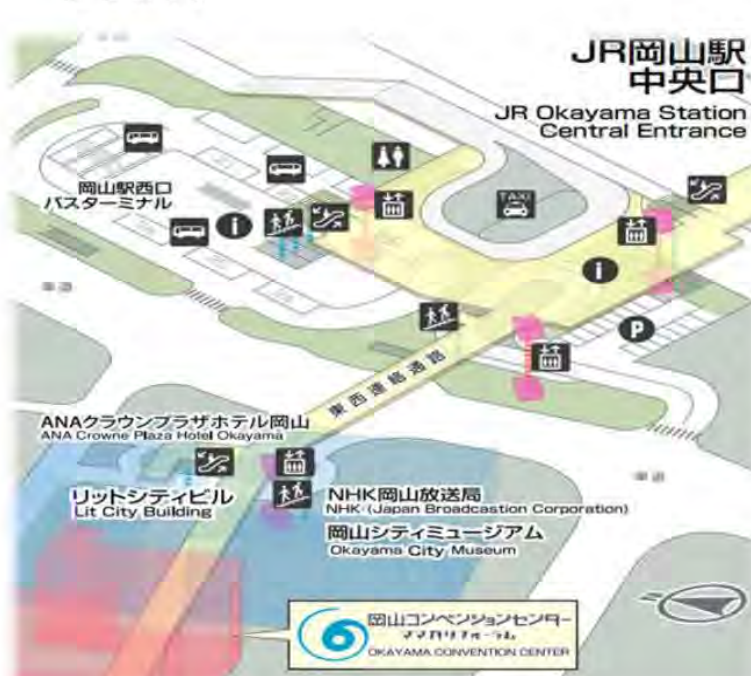
場所：3階301 (対面開催)

ワークショップでは、現場で知恵や工夫を積み
重ねてきた“達人”の実践を手がかりに、参加者
同士が自分の経験や課題を共有します。
暗黙知を言葉にし合うことで、職種を超えて学
びを深め、日常の改善や新しい連携につなげる
場とします。

J-PEAKS事務局 未来共創ワークショップ

場所：3階302 (対面開催)

各大学のJ-PEAKS事務局担当者（主に事務職員）
が集まり、日々の業務における具体的な悩みを
共有し、互いの知恵を借りながら解決策を模索
する短期集中ワークショップ&意見交換会を開
催します。



OKAYAMA UNIVERSITY